2012 年 11 月 7 日

各　　位

住　　所　東京都千代田区三崎町三丁目 3 番 23 号
会 社 名　芙蓉総合リース株式会社
代表者の役職氏名　代表取締役社長　　佐藤　隆
（コード番号：8424　東証第１部）
問合せ先　ｺｰﾎﾟﾚｰﾄｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ室長 吉田 哲也
電話番号　０３－５２７５－８８９１

2013 年３月期 第２四半期決算の概要等について

2013 年３月期第２四半期決算の概要等をお知らせいたします。
本日発表いたしました「平成 25 年３月期 第２四半期決算短信」もあわせてご参照ください。

１．2013 年３月期 第２四半期決算の概要（連結）

「2011 年度～2013 年度中期経営計画」の２年目に入った 2012 年度上期は、リース業界の取扱高（社団法人リース事業協会統計）が前年同期比 10.0%増と、半期ベースでは 2011 年度下期に続いてプラスとなり、増加基調を維持しています。機種別取扱高においても、情報通信機器をはじめとした全ての分類で前年同期比プラスとなりました。

このような中で、当社グループはコアビジネスである「リース」の契約実行高が、好調な成約実績に支えられ前年同期比 16.2%増と業界平均を上回る実績を上げました。また、「割賦」は 43.3%増、「営業貸付」も 134.5%増と大幅に増加しました。この結果、全体の契約実行高は前年同期比 30.3%増加の 2,783 億９千８百万円となりました。

営業資産残高（割賦未実現利益控除後）は、前期末比 2.0%増加の１兆 4,695 億８千３百万円と順調に増加しております。

売上高は前年同期比 2.1%増加の 2,181 億７百万円となりました。営業利益、経常利益は、09 年 3 月期から適用された新リース会計基準（利息法）による利益前倒し効果の剥落や低金利環境・競合激化を背景とした営業資産利回りの低下等により差引利益（資金原価控除前の売上総利益）が減少する中、資金原価や販管費の削減に努めましたが、最終的に減益となりました。四半期純利益は、4 月に 100%出資子会社の日本抵当証券(株）を吸収合併したことにより実効税率が下がり、前年同期比 7.6%増加して 100 億６千２百万円となりました。なお、売上高、四半期純利益は第２四半期決算としては過去最高となっております。

［2013 年３月期 第２四半期（2012 年４月～2012 年９月）の決算概要］　（金額単位：百万円）

	第２四半期実績	前年同期対比		業績予想対比　達成率	
		増減額	増減率	第２四半期累計	通期
売上高	218,107	＋4,445	＋2.1%	103.9%	51.9%
営業利益	13,755	△1,128	△7.6%	105.8%	55.0%
経常利益	15,580	△1,545	△9.0%	115.4%	59.9%
当期純利益	10,062	＋708	＋7.6%	111.8%	67.1%

２．前年同期業績比較（連結）

当第２四半期の業績を前年同期実績と比較しますと、次のとおりであります。

（単位：億円、単位未満四捨五入）

	12年3月期 第２四半期実績 (11年4月~11年9月)	13年3月期 第２四半期実績 (12年4月~12年9月)	前年同期対比	
			増減額	増減率
売　上　高	2,137	2,181	＋ 44	＋ 2.1%
売 上 原 価	1,870	1,928	＋ 58	＋ 3.1%
うち　資金原価	36	34	△ 2	△ 6.2%
売上総利益	267	253	△ 14	△ 5.1%
販売費及び一般管理費	118	115	△ 2	△ 2.0%
うち　貸倒関連費用	4	4	＋ 0	＋ 1.3%
営 業 利 益	149	138	△ 11	△ 7.6%
営業外損益	22	18	△ 4	△18.6%
うち　貸倒関連損益等	12	10	△ 2	△13.4%
経 常 利 益	171	156	△ 15	△ 9.0%
特 別 損 益	△ 3	△ 4	△ 2	―
税金等調整前四半期純利益	169	151	△ 17	△10.2%
四半期純利益	94	101	＋ 7	＋ 7.6%

1株当たり四半期純利益	309.96円	333.30円		
1株当たり純資産(前期末対比)	4,243.99円	4,611.72円		

(注)前年同期対比の増減額および増減率は、表示単位未満を含めた金額での計算結果を表示しております。

３．営業実績（連結）

当第２四半期の営業実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

［当第２四半期（2012年4月～2012年9月）］　（単位：億円、単位未満四捨五入）

	売上高	売上原価	差引利益	資金原価	売上総利益
リース	1,814	1,602	212	25	187
割　賦	290	280	10	2	7
リース及び割賦 計	2,104	1,882	222	27	195
営　業　貸　付	38	－	38	7	31
そ　の　他	39	12	27	0	27
合　計	2,181	1,894	287	34	253

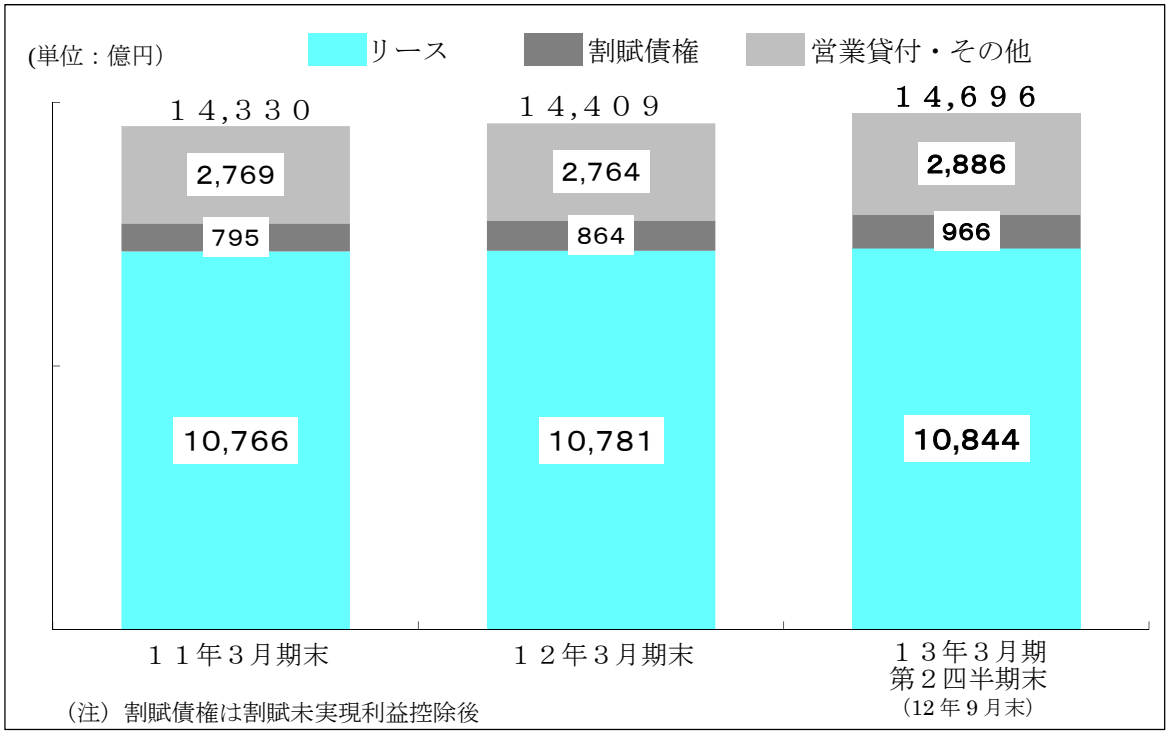
＜ご参考＞

［前第２四半期（2011年4月～2011年9月）］　（単位：億円、単位未満四捨五入）

	売上高	売上原価	差引利益	資金原価	売上総利益
リース	1,849	1,622	226	26	200
割　賦	213	204	9	2	7
リース及び割賦 計	2,062	1,826	236	29	207
営　業　貸　付	38	－	38	7	31
そ　の　他	37	8	29	0	29
合　計	2,137	1,834	303	36	267

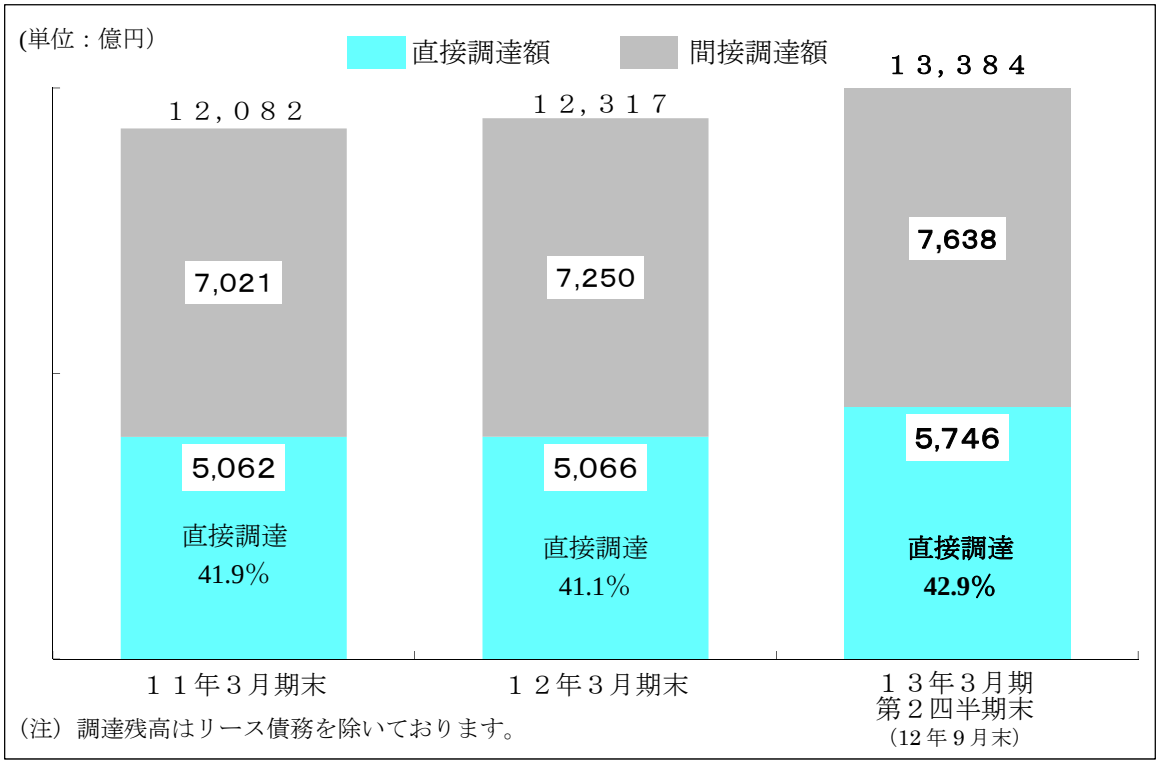
４．営業資産残高の状況（連結）

当第２四半期末の営業資産残高は、契約実行高の増加により「リース」「割賦」「営業貸付」が堅調に積み上がり、前期末比 286 億円(2.0%)増加して１兆 4,696 億円となりました。



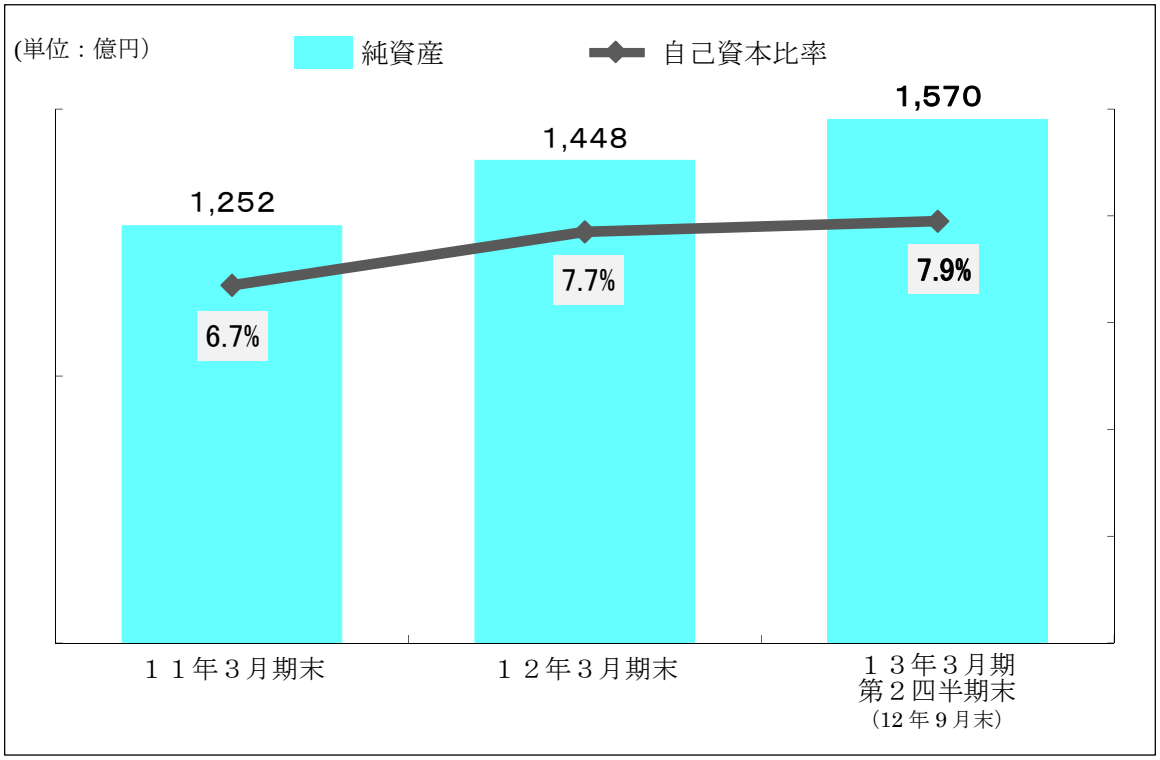
５．調達の状況（連結）

当第２四半期末の調達残高は、前期末比 1,067 億円（8.7%）増加し１兆 3,384 億円となりました。また、直接調達比率は、42.9%となりました。



６．純資産の状況（連結）

当第２四半期末の純資産は、利益剰余金が前期末比 90 億円増加したこと等から、前期末比 122 億円（8.4%）増加の 1,570 億円となりました。また、自己資本比率は前期末比 0.2 ポイント増加して、7.9%となりました。



７．2013 年３月期 連結業績予想について

2013 年３月期の連結業績予想につきましては、2012 年５月 10 日に公表いたしました数値からの変更はありません。

（金額単位：百万円）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり当期純利益
通　　期	420,000	25,000	26,000	15,000	496 円 72 銭

８．第２四半期末配当金および期末配当予想について

当社は、業績及び目標とする経営指標等を勘案し、確固たる経営基盤、財務体質の強化を図るべく、株主資本の充実に努めるとともに、長期的かつ安定的な配当の継続により、株主への利益還元に努めることを基本方針としております。

この方針に基づくとともに、最近の当社業績動向を踏まえ、株主の皆様からのご支援、ご期待にお応えするため、当第２四半期末の１株当たり配当金を前回発表予想から２円増配の 35 円とし、１株当たり期末配当金についても２円増配の 35 円とし、年間配当では１株当たり 66 円から４円増配の 70 円に修正いたしました。

	2013年３月期１株当たり配当金		
	第２四半期末	期　末	年　間
前回発表予想	33円	33円	66円
今回修正予想	**35円（決定額）**	**35円**	**70円**
修　正　額	＋2円	＋2円	＋4円
（ご参考）前 期 実 績	33円	33円	66円

（注）上記の業績および配当予想は現時点での予想数値であり、実際の業績および配当額は今後の様々な要因により予想数値とは異なる可能性があります。

以上

【ご参考】リース契約実行高 機種別（連結）

（単位：億円）

	13年3月期 第2四半期実績
情報機器・事務機器	855
産業工作機械	385
土木建設機械	34
輸送用機器	137
医療機器	128
商業・サービス用機器	263
その他	147
合計	1,950

＜構成比＞

